

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (甲信越)		スーパー（副店長）	販売量の動き	・今月の売上は、景気という意味とは違っており、新型コロナウイルスの影響による内食需要と、まとめ買いの傾向がみられたことから、売上増となっている。	
		その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が、まだそれほど出ていなかった4月初めは、寺葬がいくつも入り、とても忙しかった。	
		-	-	-	
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響による営業時間短縮などが原因かと思うが、全体的に買上点数が増加している。深夜の来客数は減っているものの、全体の売上はプラスマイナスゼロといった感じである。	
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、新型コロナウイルスの影響は余り受けずに、目標に達している。一方、新車を含む車両販売は、この先の見通しが立たないため、客が買い控える状況が続いている。	
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で、ほとんどの客は商店街に出て来なくなっている。幸いにも当店は学校販売を中心にしており、今よりもう少し規制が緩やかだった4月の初めの入学時期に販売も終わったので、大変助かった。もう少し時期がずれていたら、販売が延期になったり、大変だったと思うところである。	
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今は、新型コロナウイルスで、夜の人の動きがない。	
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、かなり売上が悪くなってきている。現状、家族で来店する客が多く、購入する商材を、一気に集中的に買うような状態で、波が激しい。全体的に、客は少なくなっている。	
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・最近の客の動向は、必要な品以外は購入しない状況である。	
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、スポーツを始め全ての催事、イベントが中止のため、テレビ番組の魅力がなくなっている。不況、不安で節約志向が高まり、解約や保留が増加している。	
		通信会社（社員）	販売量の動き	・訪問営業の自粛で、新規契約の絶対数が減っている。会社はテレワーク、学校はオンラインでの講義などが始まり、インターネットの問合せ件数は増えているが、問合せ分だけでは、訪問での獲得減少分をカバーしきれない。	
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規の依頼がほとんどない。	
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言後は、別荘への来場客が減少している。	
		×	商店街（代表者）	来客数の動き	・中心街の集客の核である百貨店も閉まり、街は正にゴーストタウンとなっている。不要品を売っているとは思わないが、店を開けることが悪いことのように受け取られるのは、たまらない。
		×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は想定を超えている。緊急事態宣言後は駅前立地の商店街の人通りは激減している。ゴールデンウィークを迎えるこの時期に、周辺企業の80%が休業か時短営業となっている。当店の売上も前年比80%減で、お先真っ暗である。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・全ての動きが止まりつつあり、消費者の欲しい物はマスクと除菌に関する物である。食品や日用品のストックも、通販やインターネットに走っている。一番必要としている所に必要な物が届かず、いろいろなバランスも崩れており、新型コロナウイルス感染者の多い地域、少ない地域に関係なく、影響が出ている。	
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス騒動で、客の動きが悪く、客への営業活動も自粛せざるを得ない。客の来店も悪く、購入意欲もないようである。	
	×	一般小売店〔薬〕（経営者）	来客数の動き	・来店客が減少している。	

×	百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で、現在、食料品売場を除き、全館で休業中のため、売上がない。
×	百貨店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3月は前年比70%で、4月は後半臨時休業したため、前半のみだが同比40%となっている。今までにない経験である。
×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は微増なものの買上点数が増加しており、売上は2けた増加となっている。土日の混雑が問題で、クレームが多数来ている。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・スーパーなので会社の経営状況は良いが、周りのほぼ全ての業種で停滞、悪化している。
×	スーパー（経営者）	それ以外	・売上は1週間前までは前年比5%増だったが、同19%減となっている。前年はイベントが3件ほどあったが、今年は全くない。来客数も1週間前は前年比5%減だったが、25日時点で、高校生、短大生が休校のため、同23%減となっている。ライブハウス経営者と話したが、2週間仕事をしていないので今後も不安ということだった。何とか継続してもらいたい。
×	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、客の購買意欲が低下している。少し深刻な状況になっている。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で商店街は閑散としており、客が来ない。ゴーストタウンのようである。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・消費税増税、令和元年台風19号、新型コロナウイルスと3つの苦難で、商店街には人っ子1人いない。
×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言以降、来店客が激減し、比例して新車販売も大きく落ち込んでいる。
×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車両販売は3月初めから全くひどい状態で、来客数が極端に落ちている。
×	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出の自粛が増え、日々来店客数が減ってきている。
×	その他専門店【貴金属】（営業）	お客様の様子	・「外出しない、消費しない、旅行も行けない」状態なので、観光に関連する当社は大打撃である。
×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止で、外出や3密によるクラスターを防ぐための自粛要請、緊急事態宣言を受け、営業自粛となってしまい、売上は通常の90%ダウンである。この先の状態も見通せない。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスショックで、悪くなっている。
×	スナック（経営者）	それ以外	・良いも悪いもない。11日から営業自粛しており売上がない。どうにもならない。
×	スナック（経営者）	お客様の様子	・令和元年台風19号や新型コロナウイルスで、とてもじゃないが客を入れることができない。本当に困っている。
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により営業できなくなっている。当県独自に旅館やホテルに営業自粛要請があった。1日1組など、中途半端に客があつて、むしろ赤字を膨らませていたので、これを口実にキャンセルの依頼ができて少し助かっている。その後も予約がないため、5月一杯の休業を決めている。6月になっても、ほぼ営業できないのではないかと考えている。
×	都市型ホテル（支配人）	それ以外	・全てが新型コロナウイルス一色で、緊急事態宣言以降、街から人が消えた。ホテルの新規予約は皆無に等しく、せっかく頂いた以前の予約もキャンセルばかりが続く。館内のレストランは営業を自粛し、全体の半数以上の従業員を休業させている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・1週間ごとに過去にない状況で落ち込んでいる。新型コロナウイルスによる落ち込みにプラスして、緊急事態宣言以降の自粛要請等で、企業存続が危ぶまれる状況ならまだ良い方で、既に危険ラインで、終息しないことには難しい。
×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が3月よりもひどく、客足が落ちている。売上で前年比85%の減少となりそうである。
×	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・新型コロナウイルスによる旅行自粛と取消しが増加し、3か月前と比べて90%減少である。現状は、国内、海外共に出張もほとんどなく、個人客も団体、募集旅行が壊滅状態である。店舗も現在休業しており、社員の80%は在宅勤務となっている。

		タクシー運転手	販売量の動き	・20日頃までは前年比50%ぐらいだったが、現在は48%である。今月は45%ぐらいで落ち着くのではないかと。	
		観光名所（職員）	それ以外	・観光客の集中を避けるため、運輸、施設共に、全てが休業中である。それに伴い近隣のホテル旅館でもほとんどが休館し、中には廃業した宿もある。	
		ゴルフ場（経営者）	それ以外	・近隣で、クラスターの恐れがある新型コロナウイルス感染が発生して以降、集客が一気に約60%減となっている。資金繰りに問題が発生し始め、事業の持続可能性が見えなくなり参っている。	
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受け、来場者が激減している。緊急事態宣言が全国に拡大し休業要請が出されたことにより、4月20日～5月6日の予定で臨時休業に入っている。このような事態は初めてであり、今後の資金繰りなどが心配である。	
		その他サービス [貸切バス]（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、仕事量が90%以上減少している。	
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-	-	
		-	-	-	
		食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスに対応した「内食」増加の影響か、販売額は微増である。アルコール、マスク等の必要資材の供給が滞りつつあり、全体では相殺される状況ではないかと。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、資材の入荷も納入日程も不明で、発注者側も工事発注を自粛しているようである。	
		×	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・日に日に販売点数が落ち、例年同期と比べて4割ほど落ちている。
		×	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言により、人の動きが全くなり、今まで経験したことのない最悪の状態に陥っている。
		×	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、主要店舗が休業しており、製品受注がなくなっている。
		×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ている。取引先からの引上げ、予定資材の未入荷、販売量の減少等、周囲の流通が著しく悪化している。
		×	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言で、デパートを始めほとんどの宝飾店はゴールデンウィークが終わるまで休業している。小規模な催事もほとんど中止で、わずかに開いている路面店も集客が見込めず、商品の問合せもほとんどない。今月の売上は前年比70%減である。
		×	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、全産業で景況感が悪化している。特に、外出自粛による観光関連産業への影響は深刻であり、資金繰りの悪化を懸念する宿泊業、飲食業、旅客業が増加している。
		×	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全国に緊急事態宣言が出され、特に観光業のウエイトが高い当エリアは、影響が大きい。インバウンドはもとより、国内の人の移動も大きく制限されており、打開策が見つからない状況である。
		×	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量の動きや取引先で新型コロナウイルス関連での倒産が出ていることから、悪くなっている。
	雇用 関連 (甲信越)		-	-	-
		-	-	-	
		-	-	-	
		職業安定所（職員）	それ以外	・休業に関する相談が多くなっている。	
	×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・求人減のなか、新型コロナウイルスが市内で発生したことが追い打ちをかけ、更に購買意欲がなくなっている。	
	×	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、多くの業種で売上は大幅に減少している。特に、4月に入ってから、求人誌に募集広告を掲載する企業が激減している。この先、収束の見通しが立たないなか、更に求人は減少する。	

	x	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・サービス業を中心に、休業にかかる雇用調整助成金の問合せや相談、手続き等が激増している。体力のない企業は、従業員の解雇や雇止めに踏み出している。
	x	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金の申請や売上減少などの話から、悪くなっている。